

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成 16 年 5 月 21 日

研究テーマ		楽しい海辺のつくり方 - 評価指標の検討と海辺紀行(関東編)の作成 -						
目的	住民や市民が中心となって「身近な海辺」を楽しめるものにしていくために、「身近な海辺」の現状を観察・評価する簡便な手法を開発する。さらに、住民や市民が中心となって実践する「楽しめる海辺のつくり方」について討議し、第1ステップとしてその結果をモデルケース「海辺紀行(関東編)」としてとりまとめることを目標とする。							
活動内容	関東近郊の海辺について、海辺の歴史、文化や自然などの特長を現地踏査を通じて調査し、試行的評価を行う。評価方法は、海辺の自然度、生物・生物相の特長、景観、アクセス、安全性、利便施設、海辺の利用度、海辺における衣食住の楽しみ、などについて、評価に参加する各人が、それぞれの主観で5段階評価(例:星をつける)を行う。評価の指標については、的確性のほかに簡易性も重視しながら、試行的評価を重ねて、一定の客観性を有する評価軸を見出す。その評価結果をもとに、住民や市民が中心となって実践する「楽しめる海辺のつくり方」について、モデル地域の住民・市民等の参加を得ながらグループで議論し、「海辺紀行(関東編)」としてとりまとめる。							
グループの構成	世話人	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
	グループ構成員	鈴木 寛	会	海岸工学	海辺つくり研究会理事			
		大槻 忠	会	水産工学	海辺つくり研究会 副代表			
		西原 潔	会	海域環境工学	海辺つくり研究会 理事			
		菅家 英朗	会	海洋環境計画	シップアンドオーシャン財団 研究員			
グループの構成については、今後募集拡大していきます。10名程度								
日程表	研究期間	平成 16 年 6 月 ~ 平成 18 年 3 月			開催頻度	1回/3ヶ月程度の海岸調査を行い、随時研究会で試行評価を討議する。		
	開催場所	各海岸及び海辺つくり研究会事務局 関東周辺地域の海岸			研究運営費			